

第7回 中部地方水供給リスク管理検討会 (R2. 11. 2 開催) 議事要旨

議事(1) 前回(第6回)の議事要旨

第6回検討会(R2. 7. 22 開催)の議事要旨を紹介し、第6回検討会資料としてWEB公開済のものについて、表現の一部修正が了承された。

〈意見等〉

(特になし。)

議事(2) モデル水系の検討

● 検討の進め方

今回(第7回)の検討項目について、検討の進行上の位置づけを紹介した。

● 影響・被害 水量不足 気候変動データを用いた想定

気候変動データを用いて河川の取水制限の程度を検討し、過去の実績に基づく想定(第5回検討結果)とも比較のうえで選出した水量不足のシナリオについて、意見交換を行った。

〈意見等〉

- 外力として選んだ降雨サンプルの現時点の社会状況のもとでの生起確率50年から数百年に1回は、リスクの想定規模として妥当と考えられる。
- 外力の特徴整理で使われている表現の視点が、渇水というよりも洪水寄りになっているので改めてはどうか。
- 現時点の社会状況を前提とするのならば、外力は過去実験データから選ぶことが順当であり、過去の渇水時よりも厳しい状況の想定として将来実験データを引用するにしても、「気候変動への適応を見通した整理」等の理念があるべきではないか。
- 気候変動の意味合と現時点で起こり得る異常事象との関係の曖昧さをなくし、今後のリスク管理にどのように位置付していくのか、考え方を整理するとよい。
- かんがい期に着目し取水不足量とダム枯渇日数それぞれの指標で選んだシナリオは、似通っているため殊更な区別を要さないのではないか。

● 影響・被害 供給遮断被害

流域下水道の処理不能に伴い生活用水の供給停止が生じた場合の影響度を検討した結果について、意見交換を行った。

〈意見等〉

- 下水処理の不能と生活用水の供給停止との関係性は、平時から世間に知ってもらいとよいのではないか。マンホール蓋の意匠への興味を端緒に広報してはどうか。

● 対応 論点整理結果の適用

対応の検討に向け、有効と考えられる施策(第3回検討結果)の適用について、水量不足・供給遮断被害の発生に伴う事象(第4回～今回検討結果)を踏まえた意見交換を行った。

〈意見等〉

- 対応の適否を考えるうえで、水供給が遮断された原因や状況が類型化され、フロー図等に整理されていると解りやすい。
- 対応の適否を考えるうえで、すぐにできることと時間がかかることとの識別が整理されていると解りやすい。
- 対応を考える前提として、各事業者が進めているリスクを下げる対応の状況や、工業用水が地下水に依存できる程度を整理しておくとうい。
- 施設の老朽化対策や耐震化など対応の着手について、目安となる数値基準を整理するなど事業者の参考となるよう掘り下げた検討をしてはどうか。
- 対応を考える際には、飲用や洗浄用等の用途に応じた水量・水質に留意する必要がある。
- 矢作川と木曾川の水が平時から相互融通されていることを踏まえ、非常時の対応としての連携のあり方を考えてみてはどうか。
- 利水ダムが事前放流で治水に協力しているように、治水が利水に協力する連携も考えていくべきではないか。
- ソフト対策の気候変動リスクへの対応としては、高温化に伴う水利用の変化について、傾向を定性的にでも整理するなど思考に入れておくべきではないか。
- ハード対策を考えるうえで、既存施設の徹底活用はもちろんのこと、新たな施設の整備も視野に置くべきではないか。
- 対応を考える際にはソフトとハードを同時に扱い、社会的なインパクトが最小となるベストミックスを見出せるとよい。
- 安全な水の供給がどのような過程で行われているのか、平時から世間に知ってもらおうとういのではないか。ダムカードや観光放流への興味を端緒に、身近な社会見学を催すなどしてはどうか。

● 影響・被害 その他

影響・被害の今後の検討に向け、水量不足の過去の実績に基づく想定(第5回検討結果)の影響度を整理したイメージ図と供給遮断被害の発生から機能回復までの期間の事例とを紹介し、意見交換を行った。

〈意見等〉

- 機能回復までの期間として整理された風水害の事例は、この検討で想定する異常事象と比べ小規模と考えられるため、地震との比較で定常的に短期間とは言い切れない。回復までの期間はハザードの種類や強度、曝露の範囲や機会数、被害対象の脆弱性や周辺状況などによるため、比較する場合には注意が必要である。

- 影響・被害の評価として被害額を出すことも一つのやり方だが、条件には幅や変化があることから、定量化によりかえって見えにくくなるのではないかと気に掛かる。感覚的な表現の方が解りやすいかもしれない。
- 経済的なインパクトを感覚的につかんでもらうには、例えば想定最大など何らかのケースで被害額を示すとよいのではないか。